

もも・ネクタリン特報 号外



2021. 6. 2

J A 中野市営農センター

J A 中野市りんご・もも部会

もも・ネクタリン収穫開始期予想一覧表

○平岡地区の収穫開始期予想です。南部地区は、2～3日程度早まります。

○本年満開日（平岡地区） 白鳳 4／13 ファンタジア 4／12 ※平年比10日早い

収穫開始期の予測は、満開後成熟日数を基本に調整を加えた期日、収穫ピークは開始期より3～5日後。

●今後の気象状況（満開後50日までの平均気温。収穫前の気温・日照量、降水量など）によって前後しますので、管理作業の参考としてご活用ください。

品種名	本年	平年	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26
サマークリスタル	7/8	7/18	7/15	7/1	7/16	7/22	7/11	7/16	7/21
晶光	7/25	8/2	8/1	8/2	8/1	8/6	7/27	8/1	8/6
フレーバー・T	8/5	8/15	8/13	8/19	8/15	8/21	8/8	8/15	8/19
和手	8/10	8/20	8/18	8/19	8/19	8/22	8/12	8/19	8/23
ファンタジア	8/20	8/27	8/25	8/29	8/25	9/7	8/21	8/25	8/31
秀峰	9/1	9/9	9/3	9/13	9/8	9/11	9/2	9/8	9/13
日川白鳳	7/5	7/15	7/14	7/15	7/13	7/18	7/8	7/13	7/17
たまき	7/5	7/15	7/13	7/15	7/13	7/18	7/9	7/13	7/17
赤宝	7/6	7/16	7/13	7/15	7/13	7/19	7/10	7/13	7/18
日の出(中生系)	7/12	7/22	7/21	7/25	7/20	7/23	7/18	7/20	7/24
秘味黄金	7/14	7/24	7/22	7/25	7/22	7/27	7/19	7/22	7/27
白鳳(在来系)	7/18	7/28	7/23	7/29	7/26	8/1	7/21	7/26	7/30
白鳳(日の出)	7/19	7/29	7/24	7/31	7/27	8/3	7/23	7/27	8/1
あかつき	7/21	7/31	7/28	8/1	7/29	8/5	7/24	7/29	8/4
滝の沢G	7/25	8/1	8/4	8/3	8/1	8/9	7/30	8/1	8/4
山根白桃	8/3	8/13	8/12	8/15	8/10	8/17	8/6	8/10	8/14
長沢白鳳	8/2	8/12	8/10	8/13	8/9	8/16	8/2	8/9	8/13
なつっこ	8/2	8/12	8/7	8/11	8/8	8/14	8/3	8/10	8/13
おどろき	8/10	8/19	8/18	8/23	8/19	8/20	8/15	8/20	8/24
川中島白桃	8/17	8/22	8/15	8/25	8/21	8/24	8/13	8/22	8/24
ニュー黄金桃	8/17	8/22	8/18	8/26	8/23	8/25	8/13	8/23	8/25
黄金桃	8/19	8/24	8/20	8/30	8/25	8/27	8/16	8/25	8/27
ニュー黄貴妃	9/3	—	9/7	9/12	9/6	9/8	8/29	9/7	9/8
選抜白根(岩戸系)	9/7	9/12	9/11	9/15	9/10	9/14	9/4	9/12	9/14
在来系白根白桃	9/10	9/16	9/15	9/20	9/13	9/19	9/8	9/15	9/18
ゴールデンピーチ	9/15	9/19	9/16	9/23	9/18	9/22	9/13	9/20	9/21

次面には、かん水・仕上げ摘果について記載しておりますので、再度ご確認ください。

1、かん水について

- ・ 10日以上、雨が降らない場合は、右表を参考に
かん水を行なう。
- ・ 10a 当り 1 ミリのかん水を行うには、水量 1 t が必要です。
- ・ 保水性の低い砂質土壌や根域の浅い土壌では、1 回のかん水量を
少なくし、間隔を短くする。
- ・ 水源が少ない場合は、細根があると思われる部分に重点的にかん水する。

もも 時期別のかん水量の目安（成木）	
時期	10 a 当り かん水量
5～8 月(成熟 10 日前まで)	20～30 ミリ
成熟 10 日前～成熟期	5 ミリ

2、仕上げ摘果

- 満開 40～50 日後頃に実施
- ＊本年は、6 月 5 日～6 月 20 日頃を目安に実施する
 - ＊ただし、晩生種で「せん孔細菌病」発生園は、被害果を見極めるため摘果時期を遅らせる。

もも 結果枝別着果量の目安		
結果枝	予備摘果	仕上げ摘果
長果枝	2～3 個	1～2 個
中果枝	1～2 個	1 個
短果枝	0～1 個	0～1 個

（長野県果樹指導指針より）

3、仕上げ摘果の要領

低温被害等により結実にバラツキがある場合や不足している場合

⇒ 品質・着果位置が悪くても基準量確保のため残す

- ・ 成木 10 a 当りの目標着果量は、10,000～12,000 果とする。樹勢が弱い場合は、着果制限する
- ・ 残す果実は、大きくて扁平な果実を残す
- ・ 着果位置は、結果枝の側方、または下方の果実を残す（上方は摘果する）
- ・ 長果枝（30cm 以上）が 2 果、中果枝（10～30cm）が 1 果、短果枝（3～10cm）が 6～10 枝に 1 果着果させる（＊図 1 参照）
- ・ 葉枚数は、モモが 1 果当り 40～60 枚、ネクタリンが 30～40 枚必要
- ・ 順序は、白鳳系・あかつき・なつっこ・白根 → 川中島白桃・ネクタリン → 黄金桃とする
（黄金桃やファンタジアは生理落果が多いためやや遅めに実施する）

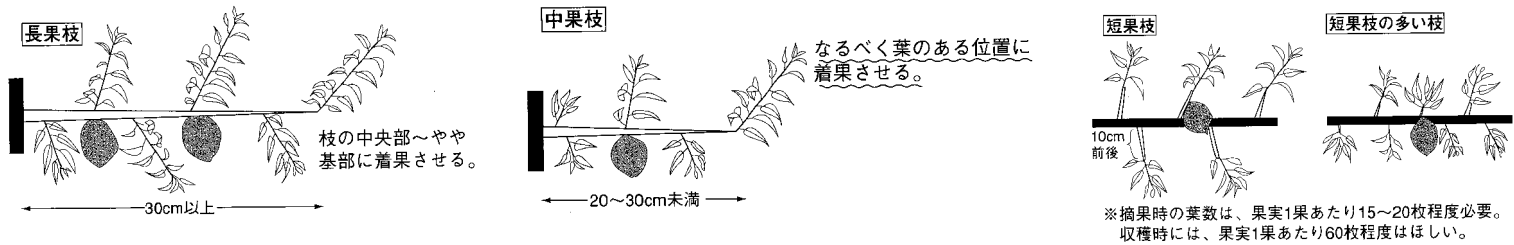


図 1 結果枝別の最終着果量

4、仕上げ摘果の留意点 ＊硬核期（満開後 50～70 日）の極端な摘果は、核割れを助長するので控える。

- ・ 日照条件の良い樹冠上部の着果量を多めに、条件の悪い下部を少なめする（＊図 2 参照）
- ・ 大きくて丸味のある果実は、双胚果の可能性が高く、生理落果や「核割れ」発生の要因にもなるので摘果する（＊図 3 参照）
- ・ 生理落果や双胚果が多い場合は、仕上げ摘果でも多めに残しておき、袋掛け前に修正する
- ・ 無袋栽培は、枝葉の繁茂によって、果実が見えにくいため着果過多や着果ムラになりやすいので、枝を持ち上げて下方からよくみて実施する。

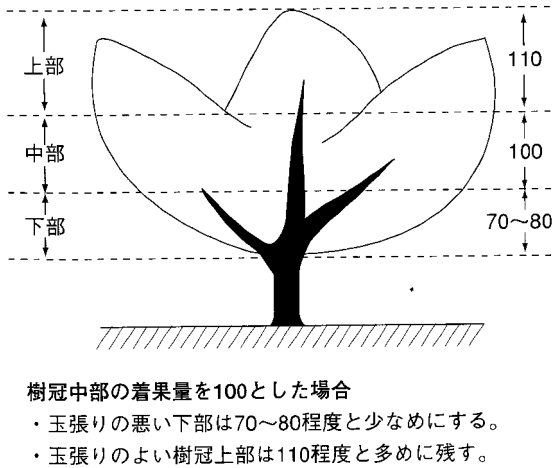


図 2 樹冠部位置別着果程度

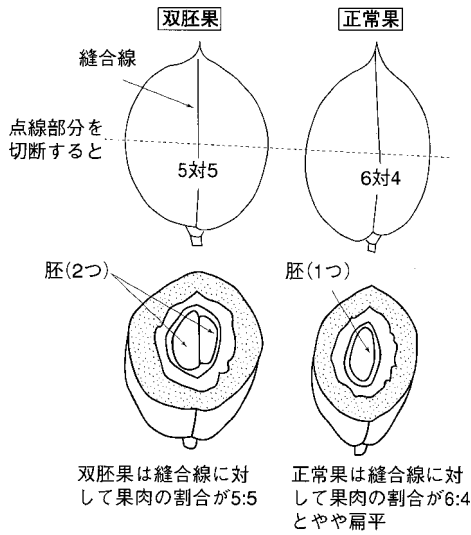


図 3 双胚果と正常果の違い